

会社説明会

～イオンディライトの総合FMS事業と成長戦略～

イオンディライト株式会社 

証券コード:9787

代表取締役社長 中山 一平

2013年9月7日

§ 1 会社紹介

§ 2 2013年度の主な取り組みと来期以降

§ 3 CSR活動への取り組み

§ 4 投資家の皆さまへ

§ 1 会社紹介

§ 2 2013年度の主な取り組みと来期以降

§ 3 CSR活動への取り組み

§ 4 投資家の皆さまへ

会社概要

事業内容	総合FMS(ファシリティマネジメントサービス)事業		
連結業績	売上高:2,488億円 営業利益:139億円 (2013年2月28日現在)		
拠点	国内:2本社(大阪、東京)、8支社、41支店等約600拠点 海外:中国、マレーシア、ベトナム		
資本金	32億38百万円	従業員数	連結:9,001名 (2013年2月28日現在)
株式上場	東証1部	証券コード	9787
単元株数	100株	株価	1,757円 2013年9月4日終値

私たちは、お客さま、
地域社会の「環境価値」を
創造し続けます。



イオンディライトのあゆみ

1972年11月 (株)ニチイメンテナンスを創立

1976年 3月 商号を(株)ジャパンメンテナンスに変更

1995年 9月 大証二部上場

1999年 7月 東証二部上場

2000年 2月 東証・大証一部上場



2006年 9月 (株)イオンテクノサービスと合併。
商号をイオンディライト(株)に変更。
ビルメンテナンス業界売上第一位に。



2010年 9月 チェルト(株)と合併。
総合FMS事業を開始。

積極的なM&A戦略

武漢小竹物業管理有限公司を子会社化

イオンコンパス(株)を子会社化

(株)ジェネラル・サービシーズを子会社化

Aライフサポート(株)を設立

永旺永楽(杭州)服務外包有限公司を設立

蘇州市蘇房物業管理有限公司を子会社化

イオンディライトマレーシア・イオンディライトベトナム設立

カジタク(株)を子会社化

エイ・ジー・サービス(株)を子会社化

FMSソリューション(株)を設立

国内

国外

2013年

2012年

2011年

2010年

チェルト(株)と合併

2009年

(株)ドゥサービスを子会社化

2008年

環境整備(株)を子会社化

2007年

永旺永楽(中国)物業管理有限公司を設立

2006年

ジャパンメンテナンス・イオンテクノサービスが合併

業績推移(売上高・営業利益)

**4期連続増収 10期連続の増益
を目指します**



総合FMSを支える6つの主力事業+α

自動販売機事業



サポート事業



設備管理事業



資材関連事業



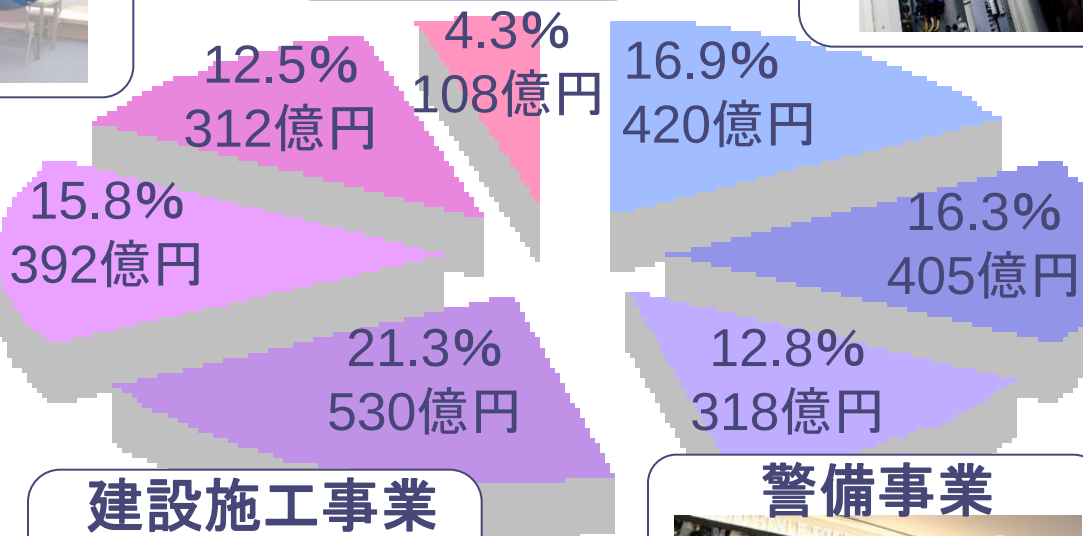
清掃事業



警備事業



建設施工事業



品質力×総合力

品質力

裏付ける専門性

世界1清潔なトイレや
省エネ大賞に選ばれる
高品質なサービス



有資格者数20,000名を超える
プロフェッショナル集団

総合力

成長を支える基盤

約10,000件の取引実績で
培われたソリューション提案力

約600箇所の拠点をつなぐ
全国ネットワーク

研究・研修施設「イオンディライトアカデミーながはま」 (滋賀県長浜市)

- 年間250セミナー、延べ10,000名超への研修を実施
- ソーラーパネル設置技術者や環境ソリューション人材の育成
- 産・官・学共同による省エネルギーオペレーションやメンテナンス手法の科学的・学術的な研究



イオンディライトグループ 連結24社

海外
連結子会社
12社

イオンディライト(株)中国代表処
永旺永楽(中国)物業服務有限公司
永旺永楽泰達(天津)物業服務有限公司
永旺永楽蘇房(蘇州)物業服務有限公司
蘇州安捷电梯工程有限公司
蘇州上品洗濯服務有限公司
蘇州仲聯物業管理有限公司
武漢小竹物業管理有限公司
永旺永楽(杭州)服務外包有限公司

大連東軟信息服務有限公司

永旺永楽(中国)物業服務有限公司 広東分公司

国内
連結子会社
12社

2012年度より連結
11社(内海外8社)

AEON DELIGHT(VIETNAM) CO., LTD.

AEON DELIGHT(MALAYSIA) SDN.BHD

§ 1 会社紹介

§ 2 2013年度の主な取り組みと来期以降

§ 3 CSR活動への取り組み

§ 4 投資家の皆さまへ

§ 2 2013年度の取り組みと来期以降

§ 2-1 既存事業の構造改革

§ 2-2 省エネビジネス

§ 2-3 サービスメニューの拡大

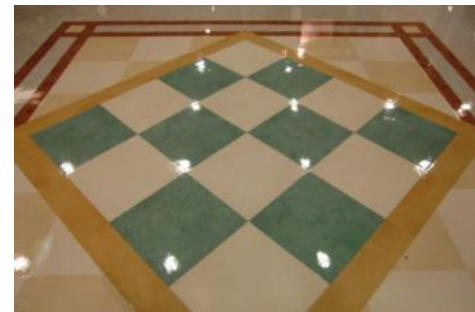
§ 2-4 アジアでの市場創造

§ 2-5 新たな市場機会

1. 既存事業の構造改革 ①環境商材の開発

① イオンディライトコート

- ・従来の樹脂ワックスに変わる水性コーティング剤
- ・有機溶剤を使用せず高光沢、剥離不要を実現
- ・**ADハードコート(開発中)**はバフ作業が不要



② トイレ革命

- ・循環式節水型樹脂製小便器 ・製造時のCO2削減
- ・排水時の水を**約90%節水**

シミュレーション(1日使用人数500人の駅の場合)

水道料金 年間約160,000円の削減

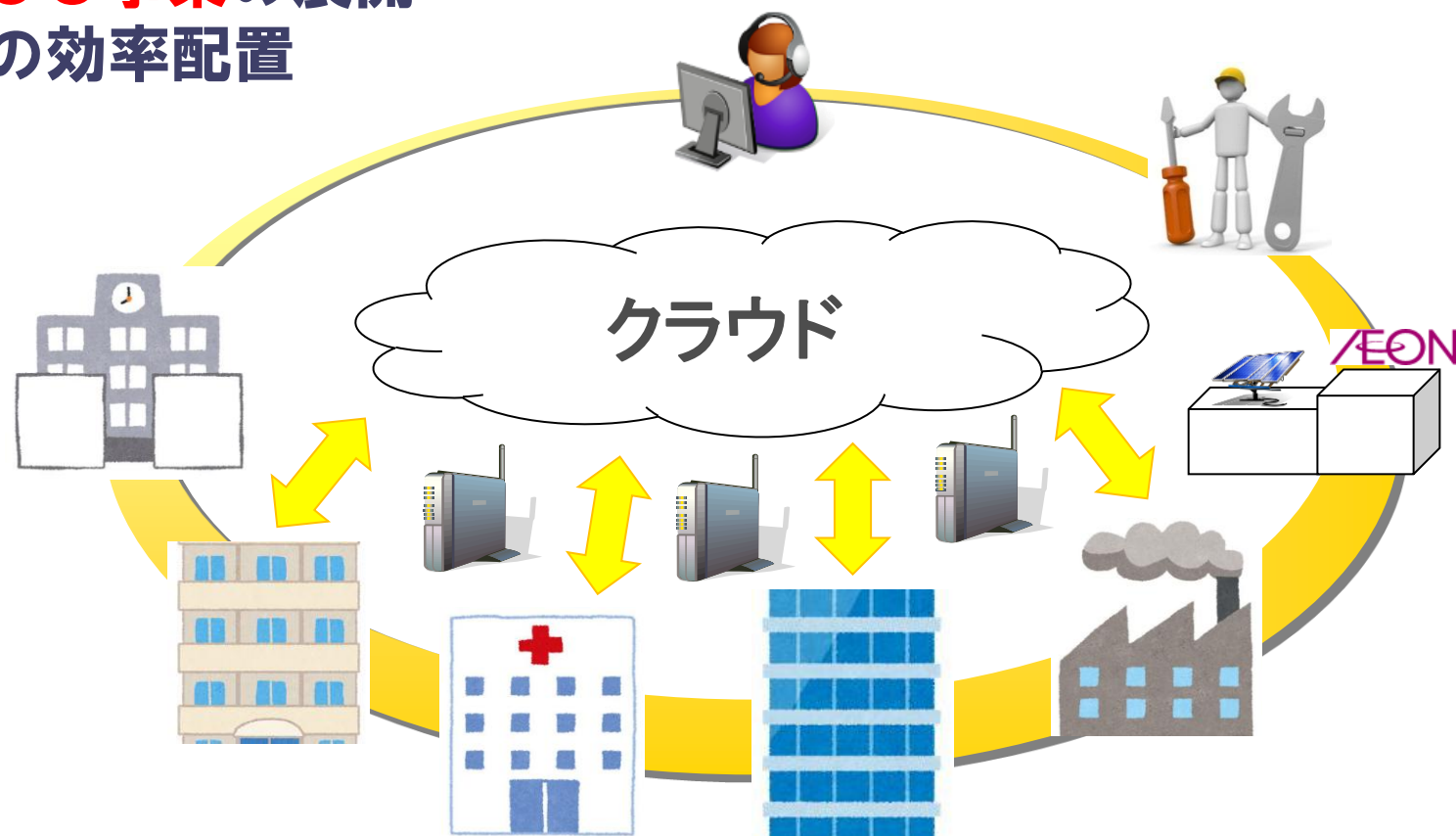
※上下水道550円/1000ℓで試算



1. 既存事業の構造改革 ②エリア管理

BEMS機器の導入
食品設備の一元管理
ESCO事業の展開
人財の効率配置

➡ **省エネ、管理コスト削減を実現**



2. 省エネビジネス ①EVサービス

EV(電気自動車)クラウドソリューションの提供

●WAONをEV充電キーとして利用。各種マーケティングへの活用を図る



再生可能エネルギーの普及、拡大 国の政策や社会の要請に寄与

■ 太陽光発電システムによる売電



静岡県菊川市の遊休地を利用した
売電事業に参画

・SPC(特別目的会社)に共同出資

→ 配当 + 周辺業務の受託により収益拡大

3. サービスメニューの拡大 ①BPO、BTM・MICE

管理部門効率化に貢献する2事業を取得

1. BPO(ビジネスプロセスアウトソーシング)

株式会社ジェネラル・サービシーズ

日本でのアウトソーシング導入コンサルティングと中国・大連でのBPO運用を実施



永旺永楽(杭州)服務外包有限公司

中国・杭州市でのBPO運用を実施

2. BTM・MICE

BTM : ビジネストラベルミーティング

MICE : ミーティング・インセンティブツアー・コンベンション・エキシビジョン

イオンコンパス株式会社

企業向け出張・移動・旅行・会議
・イベント手配を実施



AEON delight



3. サービスメニューの拡大 ②BtoBtoCマーケットに向けた取り組み

働くひとや生活するひとのライフサポートを実現

1. 家事代行サービス

株式会社カジタク



首都圏を中心に
家事支援サービスを展開
おそうじ、せんたく、家事を宅配

家事を玄人（プロ）に預ける便利さ



それが、お店で買える気軽さ

2. マンション管理サービス

Aライフサポート株式会社

ICT(情報通信技術)を駆使した
新たなマンション管理サービスを提供
安全・安心・快適な暮らしをサポート



AEON delight



4. アジアでの市場創造

中国



建物勃興によりビジネス機会が拡大

- 省を1つの単位としたエリア戦略
- 3つの営業チャネル
 - ・外資系企業
 - ・既存受託先
 - ・現地企業とのアライアンス
- 累計受託件数87物件

アセアン



成長の高いエリアで市場を創造

- マレーシア
清掃を中心に24物件でサービス提供
- ベトナム
2014年1月よりサービス開始へ

中国・アセアンでも **省エネビジネス** を拡大

- イオン順徳SC(中国)にESCO型省エネサービス導入済み
→ 年間10%以上の電気料金+CO2排出量削減をコミット
- 中国では、今年度14物件へ省エネサービスの導入を計画



5. 新たな市場機会 ～さらなる成長を目指して～

次期中期3ヵ年経営計画(2014-2016)の策定を推進
さらなる成長を目指し、ドメインを再定義する

⇒ 市場におけるポジションや事業の強みを再整理

■ 成長を実現するための**2**つのキーワード

① 環境衛生

② エネルギーソリューション

§ 1 会社紹介

§ 2 2013年度の主な取り組みと来期以降

§ 3 CSR活動への取り組み

§ 4 投資家の皆さまへ

防災・応急手当講習の実施



宮城県石巻市の小中学校で
AED操作・心肺蘇生法・応急手当の講習を実施

買い物カゴ洗浄センターの設立



2013年3月 社会福祉法人愛和福祉会

買い物カゴ洗浄事業を通じた
社会貢献活動を実施



AEON delight



§ 1 会社紹介

§ 2 2013年度の主な取り組みと来期以降

§ 3 CSR活動への取り組み

§ 4 投資家の皆さまへ

株価推移

AEON DELIGHT CO.,LTD.

2013/8/28

Splits:▼



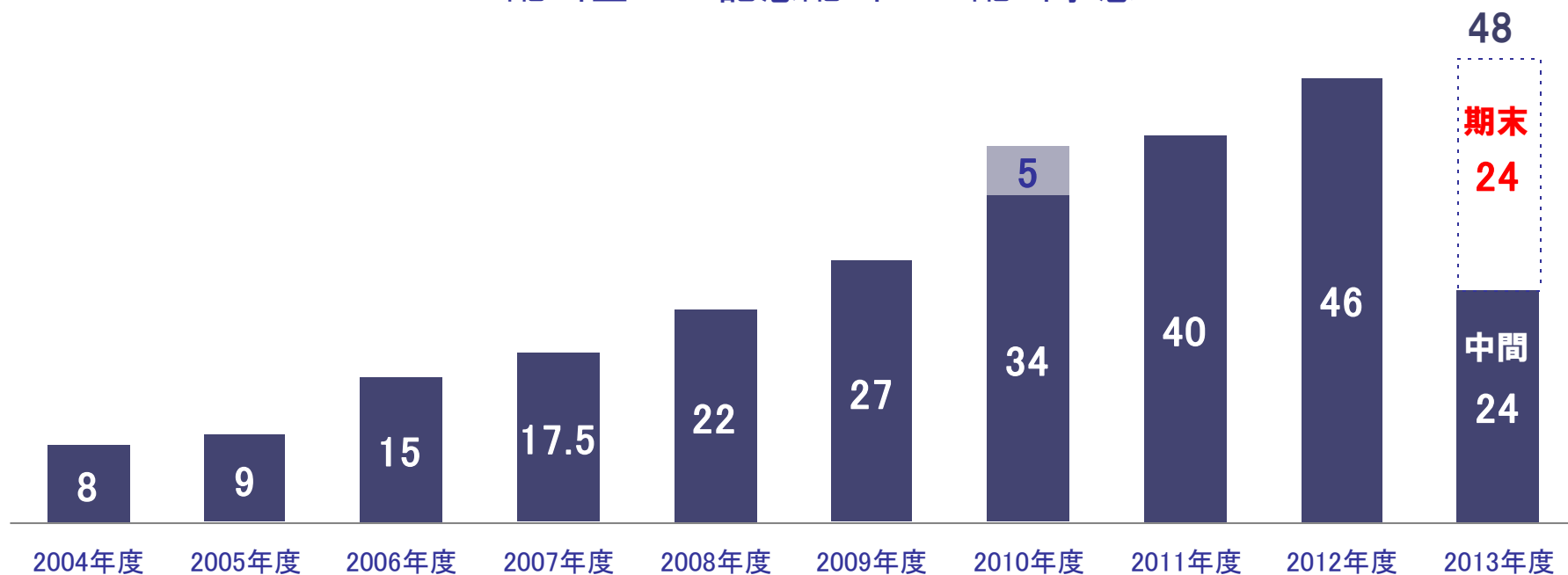
(C) 2013 Yahoo Japan Corporation.

<http://stocks.finance.yahoo.co.jp>

2005年度以降**9期連続**の増配を目指します

	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
配当額	8.0円	9.0円	15.0円	17.5円	22.0円	27.0円	39.0円	40.0円	46.0円	48円

■ 配当金 ■ 記念配当 □ 配当予想



※当社は2007年12月1日付で1株につき2株の株式分割を行っております。2004年度期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合の配当金額です。

※2010年度の期末配当には、記念配当5.00円を含んでおります。



AEON delight



株主優待制度

- 毎年2月末日の株主名簿に記載され、
100株以上保有の株主さまに、保有株式数に応じた口数のご優待品を進呈。

保有株式数	100～999株	1,000～ 4,999株	5,000～ 9,999株	10,000株 以上
優待口数	1口	2口	3口	4口

(1) トップバリュ商品詰合せセット
[2,500円相当]

AもしくはBからセレクト

A. コロンビアコーヒーブレンド6袋



B. ビーフカレー10個



(2) イオンギフトカード
[2,000円分]



※ 写真は、2013年度のご優待品です。

ホームページ 個人投資家様ページのご案内



[IR情報](#)

[お問い合わせ](#) [サイトマップ](#) [日本語](#) [English](#) [中文](#)

[印刷する](#) 文字サイズ 小 **中** 大

[サービス紹介](#) [総合FMSとは](#) [企業情報](#) **[IR情報](#)** [CSR情報](#) [採用情報](#)

[HOME](#) > [IR情報](#) > 個人投資家の皆さまへ

IR情報

中国における総合FMS事業の拡大

[個人投資家の皆さまへ](#)

[イオンディライトってどんな会社？](#)

[成長戦略を教えてください！](#)

[直近の業績は？](#)

[株主還元は？](#)

経営方針

財務情報

IR情報

**個人投資家の皆さまへ**

**イオンディライトってどんな会社？**

**成長戦略を教えてください！**

**直近の業績は？**

**株主還元は？**

検索、または以下URLにアクセスして是非ご覧ください。

総合FMS

検索

<http://www.aeondelight.co.jp>

 × **AEON delight** 

Copyright ©2013 AEON DELIGHT Co., Ltd. All Rights Reserved.

30

JR東日本、東京メトロなどの車両内に30秒動画が流れます

【広告内容の概要】

- 掲載内容 : イオングループの節電への取り組み【予告編】(30秒動画)
- 掲載媒体 : ・東京メトロ メトロビジョン
(銀座線・丸ノ内線・有楽町線/副都心線・東西線・千代田線・半蔵門線)
・JR東日本 ト레인チャンネル
(山手線・中央線快速・京浜東北線・京葉線・埼京線)
・東急チャンネル(TOQ)
- 掲載期間 : 2013年9月9日(月)~9月29日(日)(予定)



(JR東日本 ト레인チャンネル一例)

**本日は、ご清聴頂きまして誠にありがとうございました。
ご意見・ご質問につきましては、下記にお願いいたします。**

**イオンディライト株式会社
(証券コード:9787)**

I R担当連絡先

部署名:コーポレートコミュニケーション本部

責任者名: 高 橋 (タカハシ)

TEL 06-6260-5632

FAX 06-6260-5653

又は、ホームページよりお問い合わせください。

<http://www.aeondelight.co.jp>

※FAX送信される方は、お名前とご返答用連絡先を必ずご記入ください。

本日、ご説明した内容につきましては発表日当日(2013年9月7日)に入手可能な情報に基づき作成したものであり、
今後の様々な要因により業績予測につきましては、変更する場合がございます。

§ 参考資料



損益推移

単位:百万円

	2003年度		2004年度		2005年度		2006年度		2007年度	
	実績	前年比 (%)	実績	前年比 (%)	実績	前年比 (%)	実績	前年比 (%)	実績	前年比 (%)
売上高	55,749	99.3	54,665	98.1	62,323	114.0	111,170	178.4	137,519	123.7
営業利益	1,686	79.7	2,504	148.5	2,949	117.8	5,576	189.0	8,330	149.4
経常利益	1,697	80.5	2,511	147.9	2,953	117.6	5,485	185.7	8,186	149.2
当期純利益	148	13.1	860	580.6	1,324	153.8	2,998	226.4	4,379	146.1

単位:百万円

	2008年度		2009年度		2010年度		2011年度		2012年度	
	実績	前年比 (%)	実績	前年比 (%)	実績	前年比 (%)	実績	前年比 (%)	実績	前年比 (%)
売上高	145,690	105.9	140,299	96.3	170,905	121.8	219,797	128.6	248,876	113.2
営業利益	9,946	119.4	9,970	100.2	12,031	120.7	13,762	114.4	13,901	101.0
経常利益	9,812	119.9	9,912	101.0	12,089	122.0	13,784	114.0	13,892	100.8
当期純利益	4,876	111.3	5,466	112.1	6,495	118.8	6,912	106.4	7,509	108.6

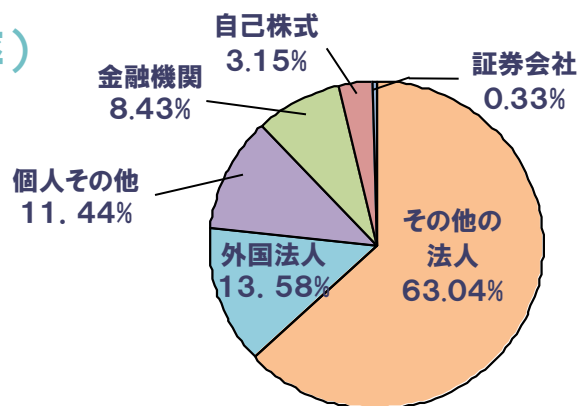
大株主の状況および所有者区分(比率)

所有比率は発行済株式に対する比率です。株式数は千株未満を切り捨て、比率は小数第3位を四捨五入しております。

順位	株主名	所有株式数(千株)	所有比率(%)
1	イオンリテール株式会社	23,261	42.94
2	イオン株式会社	9,103	16.81
3	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,034	1.91
4	イオンディライト取引先持株会	722	1.33
5	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	710	1.31
6	ザ バンク オブ ニューヨーク トリーティー ジャスデツク アカウント	688	1.27
7	イオンディライト従業員持株会	672	1.24
8	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	623	1.15
9	ノーザントラスト カンパニー(エイブイエフシー)サブ アカウント プリティツシユクライアント	592	1.09
10	ジエービーモルガンチエース ユーエス ペンション トリーティ ジャスデツク	575	1.06

データは2013年2月28日現在

所有者区分(比率)



経営指標

	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
EPS(一株当り当期純利益)	137.79円	142.56円	131.81円	143.15円
ROE(自己資本当期純利益率)	18.91%	15.47%	12.55%	12.46%
ROA(総資産当期純利益率)	11.19%	9.75%	7.79%	7.76%
売上高経常利益率	7.06%	7.07%	6.27%	5.58%
売上高純利益率	3.90%	3.80%	3.15%	3.02%
総資本回転率	2.87回	2.56回	2.48回	2.57回
自己資本比率	64.22%	62.32%	61.92%	62.64%
1株当たり純資産	787.84円	1,005.62円	1,095.59円	1,202.42円
PER(株価収益率)	8.83倍	10.57倍	11.62倍	11.46倍
PBR(純資産倍率)	1.54倍	1.50倍	1.40倍	1.36倍
(ご参考)期末株価	1,216円	1,507円	1,532円	1,641円

※数値は小数第3位を四捨五入しております。

サービス業売上ランキング

No.	企業名	売上高
1	電通	1.8兆円
2	博報堂DYホールディングス	9,783億円
3	セコム	6,791億円
4	楽天	4,434億円
5	エイチ・アイ・エス	4,314億円
6	ベネッセホールディングス	4,237億円
7	オリエンタルランド	3,600億円
8	アサツー ディ・ケイ	3,508億円
9	総合警備保障	3,047億円
10	ニチイ学館	2,573億円
11	イオンディライト	2,488億円
12	テンブホールディングス	2,331億円

※Ullet業績ランキングより抜粋。 <http://www.ullet.com>



AEON delight

